



Try! up!

Vol. 37 [2019年10月20日発行]

令和元年度《東北福祉看護学校公開講座》開催



去る9月28日、本校が主催する看護職のための公開講座が開催されました。今年で5年目となる今回のテーマは、「看取るほど解るいのちの重さかな～百聞は一験にしかず～」として、岡部医院仙台の地域連携室長である山室 誠先生に講演していただきました。



先生は「看取り」の考え方や、立場や関係性により異なる「死」について話され、人の死は、医師が認めることではなく、傍らに居た方々が五感で感じるのだと述べられました。その後、医学生・看護学生のために開発した教育プログラムである『死の模擬体験授業』へ。この体験授業を通し、死に直面するということは、本当に大切なものは何かということに気づくことだと学びました。そして、終末期においては、その方の価値観を尊重し、残された人生における最も大切なものをその方が選択していけるようお手伝いをすることが医療従事者の役割であると認識できました。



会場からは、自宅で祖父を看取った方、精神障害者宅への訪問看護の場面や介護老人保健施設での看取りの場面、グループホームでの経験から等、さまざまな立場からの質問が寄せられました。山室先生のそれぞれの質疑応答の時間がさらに理解を深め、貴重な時間となりました。

心に響く講演をいただきました山室先生に感謝するとともに、今後も看護職の皆さんと共に学習できる場をつくっていきたくと考えています。

精神看護学紙上事例学習会を開催しました

9月中旬、本校において精神看護学の紙上事例学習会が行われました。精神看護学の遠藤先生が担当し、65名の参加者の学習を支援しました。

はじめの時間は印刷資料をもとに講義形式で、紙上事例演習のねらいの確認や、事例疾患である「統合失調症」の病態、治療、看護の説明がされました。その上でキーワードとなる語句の解説や、ヘンダーソンの看護論に基づいた看護過程の展開ポイントについて話されました。

全体的な説明の後は、学生一人ひとりの質問に対応していききました。個々につまずいている部分に対し遠藤先生がアドバイスし、学生たちは納得した表情で学習会を終えました。

今後も紙上事例演習という学習課題を乗り越える力をつけていけるよう、学校はサポートしていきます。

臨地実習オリエンテーションを開催しました

7月30日、1年生を対象にした実習オリエンテーションを実施しました。本校に入学してから初めてとなる基礎看護学の病院等見学実習は8月19日から、次に続く精神看護学が11月14日から開始となるため、実習要項を用いながら留意点の一つひとつ確認していききました。

実際の実習中に想定される場面について、イメージしやすいように実習担当教員らがロールプレイングを行いました。その後、実習施設ごとに集まり、顔合わせやオリエンテーション用紙の読み合わせをしながら、実習メンバー同士の交流を図りました。

見学実習は直接現場での看護援助場面から多くの学びを得られる貴重な機会です。各2日間ですが事前学習をしっかりとって、実習に臨みましょう。





第106回 国家試験問題 (一般問題)

Aさん(65歳・男性)は、胃癌を疑われ検査入院した。

入院時、認知機能に問題はなかった。不眠を訴え、入院翌日からベンゾジアゼピン系の睡眠薬の内服が開始された。

その日の夜、Aさんは突然ナースステーションに来て、意味不明な内容を叫んでいた。

翌朝、Aさんは穏やかに話し意思疎通も取れたが「昨夜のことは覚えていない」と言う。

Aさんの昨夜の行動のアセスメントで最も適切なのはどれか。

- ① 観念奔逸 ② 感情失禁
- ③ 妄想気分 ④ 夜間せん妄

今回の精神看護学では、『せん妄』について取り上げたいと思います。

『せん妄』は、意識混濁や精神運動興奮などの精神症状がみられる意識障害です。要因として直接因子(身体疾患・薬剤の影響・手術など)、準備因子(高齢・認知機能障害・頭部疾患の既往・アルコールの多飲など)、誘発因子(入院・身体拘束・睡眠障害、脱水、疼痛等身体的要因など)の3つに分けられます。

この問題の中で、Aさんの一連の行動は、「入院時」「認知機能の低下がなかった」「不眠を訴え」「睡眠薬の内服が開始」「症状は一時的で翌朝には自然と改善」という点をポイントとして考えると答えが導き出されます。

『せん妄』は看護師国家試験への出題頻度が高いと言えます。また精神科に限らず臨床場面で多くみられる病態です。そのため正しい知識を身につけることが大切です。

問題の解答は… ④夜間せん妄

学生通信

『目指す看護に向かって…』

2年生 森谷 由里 さん(山形県・40代・施設勤務)



実は、看護師になろうとは考えていませんでした。以前、看護補助者として勤めていた職場で「せっかくだから学校に行って勉強してみたら?」と声をかけていただき、准看護師養成所へ入学したのがこの道に進む、はじめの一歩でした。

その後、准看護師として働く中で訪問看護に携わる機会があり、医療的ケアが必要な児への看護に強心を惹かれました。私の身近に障がいを持つ子どもがいることも惹かれた一因かもしれません。それから、もっと患児への看護に関わるためにはどうしたらよいかを調べるようになり、看護師資格の必要性を感じたのです。「自分がやりたい看護が

できるようになるには看護師にならなければ」と一念発起。自分と親の年齢を考えても「今しかない」と進学を決めました。

現在2年目ですが、看護師への学びは思ったよりも大変です。はじめはもっと早く学習を始めればよかったと後悔もしました。でも、学校に来れば同じ目標を持つ仲間や丁寧に教えて下さる先生方がいます。職場も領域も年齢もさまざまな同級生は、皆さん意識が高く、毎回いい刺激をもらっています。それが自分のやる気にも繋がるのです。また、自宅で学習していても、分からないところがあればすぐやり取りができる仲間がいることで、1人では難しいことも乗り越えられているのだと思います。特に私は自宅学習が苦手なので、これからも図書館や自習室を上手に使って刺激をもらいながら学びを積み上げていきたいと考えています。

気づけば看護師国家試験まであと半年を切りました。協力してくれる家族や職場の皆さんのためにも、そして半年後に自分が目指す看護へまた一歩近づくためにも、国家試験合格に向けて頑張りたいと思います。

国家試験対策

虎の巻

其の三十六

根拠を理解し
知識を確実に
しましょう!

国家試験対策担当
倉林 恵子 先生

2年生の皆さんは臨地実習がすべて終了し、1年生の皆さんは基礎看護学実習が終了しました。前回の第108回看護師国家試験では、臨地の現場における状況の判断を求める出題がありました。臨地実習で見学した場面の中で状況判断がどのようにされているかを学習しましたか?

2年生はこれまで、3回の模擬試験を自宅受験しました。その結果を、各自Webで確認しましたね。Cランクは合格ボーダーライン、Dランクは合格圏に入っていません。模擬試験の結果を活かして今後の弱点克服の学習計画を立てましょう。自分が何を学習したらよいかを理解して計画を立て、「学習→模擬試験受験→復習」を行います。模擬試験はあと2回、今度は会場受験になります。

皆さん、看護師国家試験問題集での学習が進んでいると思います。そこでは、過去に頻出されている要点をきちんと捉えてください。そして、そのテーマについての学習を広げて深めます。単純に過去問を解くだけを繰り返さないようにしてください。また、必修過去問題集は、解説を読みながら丁寧に勉強してください。39点で不合格になる人がいます。暗記して覚えて得点できる問題と、根拠を理解していないと得点できない問題があります。根拠を理解し、知識を確実にしてください。そして、五肢択二の選択は迷わずに正解できるようにしましょう。

卒業生のアンケート内容で多かったのは、「レポート課題や紙上事例の記録を振り返って勉強して役立った」という回答でした。また、以前「Try!up!」に掲載された「日々の積み重ねがあったからこそ、看護師として必要な知識をしっかりと身に付けることができた」という卒業生の実感の声がありました。2年生の皆さんは積み重ねたものを確実にしてください。1年生の皆さんは、積み重ねるように日々学習をしていきましょう。

今の時期に大事にしたい学習のポイント

- ① 根拠を理解し知識を確実にしていく
- ② 自分の苦手分野や傾向について分析し、合格にむけて方略を考え学習する
- ③ 会場受験をして本番をイメージする

point

独立行政法人 国立病院機構 盛岡医療センター

働きやすい環境づくりを目指して



上澤 力さん
(岩手県・30代・施設勤務)

盛岡医療センターでは、1年生のときに基礎看護学、2年生になった今年は成人看護学と看護の統合の見学実習をさせていただきました。昨年は、とても緊張しながら実習に行きましたが、その際にとても温かく迎え入れていただいた経験があったので、今年は落ち着いた気持ちで実習に臨むことができました。

実習では、看護部長さんはじめスタッフ全員が、本校の見学実習の目的や範囲をしっかりと理解されていると感じる場面が多くありました。他の学校からの実習生もいる中で、見学までなのか、実際にケアに関わってもらうのかなど、実習指導者の方を中心にスタッフ間で確認しながら、丁寧に指導していただきました。また、事前に実習目標を提出することで、自分が希望する看護場面を見学させていただき、学びたいことをより深く理解できたように思います。

多くの気づきや学びを得た実習ですが、なかでも看護職における組織構造や働く環境づくりという点が特に印象に残っています。毎日の申し送りの際には、必ず看護部長さんが周りのスタッフに意見を求めて、発言しやすい雰囲気を作っていました。言葉や態度一つひとつに細かい気配りがなされているからこそ、スタッフの方々が生き生きと働き、助け合いながらケアができていたのだと実感しました。チームで連携しながら働くことの重要性を改めて認識することができたのは、やはり実習に行ったからこそ学びだと思えます。この実習での経験を活かし、私が今働いている高齢者施設でも、職員がお互いに協力しながら、より良い環境で仕事ができるよう率先して働きかけていきたいと思えます。

2年間の学びの中でも重要な位置を占める「病院等見学実習」。限られた時間の中で、どれだけ多くのことを吸収できるか、そして日々の学習にどう結びつけていくかが問われる教育内容である。ここでは、学生に充実した学びを与えてくださった「盛岡医療センター」の実習受け入れに対する体制や考え方を紹介したい。

本校以外にも岩手県内の大学、専門学校から多くの実習生を受け入れている「盛岡医療センター」。学校によって実習施設に期待する指導内容はさまざまであるが、それぞれの学校に合わせた実習指導案を作成し、学びの場を提供している。当センターの実習に対する考え方、学生に何を学んでほしいと期待しているのかお話を伺った。

実習での学びをより深く実りある時間にするためには、学生自身が『実習で何を学びたいのか』という目標を持って臨むことがとても重要である。浅沼あけみ看護部長は、「当センターでは、事前に学生それぞれから『実習目標』を提出してもらい、その目標に合わせて学生を各病棟に配置しています。2日間という限られた時間の中ですが、自身の求める学びを達成してほしいと思っています」と語る。「その日によって指導者が変わることもありますので、学生の目標やその日の指導内容をノートに記して、スタッフ全員で共有できるようにしています」とは実習指導者の小田島洋子さん。そうした環境の中だからこそ、学生たちは自身の目標に向かって、より充実した実習を受けることができているのだと確信する。

准看護師としての就業経験がある本校の学生に対して、その指導方法や関わり方にも配慮がなされている。「これまで培ってきた准看護師の経験と学校での勉強を結び付けて理解を深められるように指導しています。そのうえで、将来の看護師像を明確にしてほしいと思っています」という小田島さんは、自分よりも年上の学生に指導する機会も多い。現場での経験豊富な学生から教わることもあり、自身も楽しみながら学生指導の経験を積み重ねている様子が伺えた。

最後に、浅沼看護部長から「共にながらんでいる仲間、応援してくれている家族や職場の方から、たくさんのパワーをもらっているはず。看護師として持つべき知識や技術をしっかりと身につけたうえで、自分が患者のためにできることは何かを考え、持っている力を発揮して行ってほしいと思います」と、看護の専門職業人としての期待を込めた激励の言葉をいただいた。



小田島 洋子 実習指導者
浅沼 あけみ 看護部長

独立行政法人 国立病院機構 盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山1丁目25-1



前身である国立療養所盛岡病院を経て、平成16年に独立行政法人国立病院機構盛岡病院となる。小児科診療の充実と重症心身障がい者病棟の開設に伴い、平成31年に独立行政法人国立病院機構盛岡医療センターと改称。国立病院機構の一員として、呼吸器疾患及び免疫異常に関する基幹医療施設、また脊椎疾患や関節疾患の手術、神経難病医療、地域包括ケア病棟など、地域のニーズにこたえる幅広い医療を行っている。

学校からの お知らせ掲示板

● 学校説明会開催のお知らせ

入学をお考えの皆さまを対象とした【学校説明会】を各地で開催しています。お友達や職場の同僚、お知り合いに対象の方や興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非ご案内ください。

時 間◆全日程14:00～16:00

開催地	開催日時	会 場
酒田	11月2日(土)	酒田市総合文化センター
盛岡	11月10日(日)	放送大学岩手学習センター(岩手大学内)
東京	11月17日(日)	東北福祉大学 東京サテライト
秋田	11月24日(日)	放送大学秋田学習センター(秋田大学内)
八戸	11月30日(土)	八戸地域地場産業振興センターユートリー
いわき	12月1日(日)	いわき市 労働福祉会館
仙台	12月8日(日)	東北福祉看護学校
	1月11日(土)	
青森	1月19日(日)	青森県観光物産館アスパム
仙台	2月9日(日)	東北福祉看護学校
	2月15日(土)	

*要事前予約(開催日の前日まで本校Webサイトよりお申し込みください)
*参加特典あり

● オープンキャンパス開催のお知らせ

「学び」を体感し、看護師への道をイメージする機会として【オープンキャンパス】を開催しています。

開催日 ◇ 第2回 11月4日(月・振替休日)

会 場 ◇ 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス7階

時 間 ◇ 13:00～17:00(受付随時)

*ご都合に合わせてご自由にご参加ください。

参加無料
お申し込み
不要
参加特典
あり

内容 ◆学校説明 ◆放送大学説明 ◆演習体験 ◆個別相談
◆模擬授業 ◆臨地実習説明 ◆卒業生の体験談

「演習体験」や「模擬授業」など、充実した内容で本校を体感していただけます。
参加費無料、参加特典もございます。多くの参加をお待ちしています。
※詳細は、本校Webサイトをご覧ください。

● 新任教員のご紹介

10月より本校に着任された先生をご紹介します。

◇ 熊谷 政江 先生 (基礎看護学担当)



● 年末年始休校のお知らせ

本校は、2019年12月28日(土)から2020年1月5日(日)までお休みをいただいております。

この期間は電話も繋がらないことをご了承ください。

2020年1月6日(月)より通常の業務開始となります。

◆本校への入学相談につきましては、Eメールでの問い合わせをお願いします。
後日、折り返し電話にてご連絡申し上げます。

【進学相談専用メールアドレス】
tfns_sodan@tfu-ac.net

【進学相談専用ダイヤル】
022-292-2662

スケジュール

1年生【学籍番号が“19”で始まる学生】

教育課程

①精神看護学見学実習前面接授業
日程:11月5日(火)、11月8日(金)、11月10日(日)
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

②精神看護学病院等見学実習
期間:11月14日(木)～12月20日(金)

③通信授業の面接授業
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
日程:

◆成人看護学	◆母性看護学
1回目:11月28日(木)	1回目:令和2年1月8日(水)
2回目:12月1日(日)	2回目:令和2年1月14日(火)
◆老年看護学	◆在宅看護論
1回目:11月29日(金)	1回目:令和2年1月9日(木)
2回目:12月2日(月)	2回目:令和2年1月15日(水)
◆小児看護学	◆看護管理・災害看護
1回目:11月30日(土)	1回目:令和2年1月10日(金)
2回目:12月3日(火)	2回目:令和2年1月16日(木)

2年生【学籍番号が“19以外”で始まる学生】

教育課程

①病院等見学実習後面接授業
*9月・10月は終了しました。
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

内容	日程	時間
成人看護学	11月1日(金)	10:30～17:30
	11月2日(土)	8:50～15:50
小児看護学	11月11日(月)	10:30～17:30
	11月12日(火)	8:50～15:50
母性看護学	11月13日(水)	10:30～17:30
	11月14日(木)	8:50～15:50
在宅看護論	11月15日(金)	10:30～17:30
	11月16日(土)	8:50～15:50
看護の統合と実践	12月6日(金)	10:30～17:30

会場:盛岡/いわて県民情報交流センター アイーナ
時間:全ての日程 9:30～16:30

内容	日程	
老年看護学	11月6日(水)	11月7日(木)
看護の統合と実践	11月19日(火)	11月20日(水)

国家試験対策

①国家試験対策講座
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
日程:12月18日(水)10:00～17:00(成人)
12月19日(木) 9:00～16:00(老年・小児・精神)
12月20日(金) 9:00～16:00(母性・在宅・統合と実践)

